

## BIM・IPD による設計生産業務の国際標準 ～ガラパゴス建設産業の脱出口～

BIMの導入が今急速に進みつつあるが、これにより日本の建設産業の構造が大きく変わる可能性がある。BIMを効果的に利用すれば、建物品質、建設費、工期が大きく改善され、生産性も飛躍的に向上すると言われる。しかし、その効果はBIMだけでは達成されず、フロントローディング、コラボレーション、コーディネーションという設計生産全般に亘る業務プロセスのイノベーションが必要とされ、米国では設計生産協同でプロジェクトを推進する方式のIPDが提案され、実践が始まっている。シンポジウムではBIM・IPDによる設計生産の新たな業務プロセスを俯瞰し、日本の設計生産体制のイノベーションの可能性について考察し、意見を集約する。

企 画：情報システム技術委員会 設計・生産の情報化小委員会  
日 時：2012年12月13日（木）9:00～12:40  
場 所：建築会館ホール  
司 会：猪里 孝司（大成建設）  
副 司 会：岡 正樹（CIラボ）  
記 録：山極 邦之（大林組）

1. 主旨説明 猪里 孝司（大成建設） ..... 5分
2. 招待講演  
「国際建設市場展開に必要な契約形態の多様化」  
草柳 俊二（高知工科大学） ..... 9:05～ 9:45
3. 話題提供
  - 1) 「BIMのコラボレーション実践を通して見えてくる新たな設計生産業務」  
森 元一（竹中工務店） ..... 9:45～10:05
  - 2) 「米国連邦調達庁における BIM マネジメント手法」  
大槻 泰士（内閣府沖縄総合事務局） 10:05～10:25
  - 3) 「BIM（理系）と XBRL（文系）の間にあるべき制度 —昭和23年建設工業原価  
計算要綱案の再考—」 寺川 鏡（コスト研） ..... 10:25～10:45
  - 4) 「IPDによる設計・生産業務の新たな国際標準」  
田部井 明（竹中工務店） ..... 10:45～11:05
- 休 憩
4. 第14回建築CAD・BIM利用実態調査報告  
山極 邦之（大林組） ..... 11:15～11:25
5. パネルディスカッション ..... 11:25～12:35

### 「BIM・IPDはガラパゴス建設産業の脱出口となるか」

司 会 岡 正樹（CIラボ）  
出席者 草柳 俊二、森 元一、大槻 泰士、寺川 鏡、田部井 明

6. まとめ 山下 純一（IAI日本） ..... 5分